

2022年度JKA補助事業(私立特別支援学校の建築)について、2回目の自己評価を行ってください。

・提出期限 : 2024年1月31日(水)

・提出先 : p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp

## 《2022年度JKA補助事業 自己評価書(2回目) 記入のしかた・記入例について》

\* **青字部分**は記入例です。記入の際、参考にしてください。

\* **水色箇所**は記入箇所となります。

\* 以下の【記入にあたっての注意点】もご一読のうえ、ご記入ください。

### 2022年度自己評価書(2回目) 様式・記入例 ↓

### 【記入にあたっての注意点】

整理番号	2022P -	200	補助事業者名	学校法人〇〇〇	補助事業名	障がいのある青少年の健全育成のための施設(私立特別支援学校)の建築		
------	---------	-----	--------	---------	-------	-----------------------------------	--	--

**2022年度 JKA補助事業 自己評価書(2回目)**

作成年月日	2024	年	1	月	25	日	作成者	競輪 花子
-------	------	---	---	---	----	---	-----	-------

1. JKA補助 建築について(2022年度補助事業で建築された特別支援学校についてご記入ください。)

施設の種類	私立特別支援学校		
建築施設名	〇〇〇学園	構造	鉄筋コンクリート造2階建て
建築施設の所在地	東京都港区港南一丁目2番70号	延床面積	246.90 m <sup>2</sup>
建築した施設の特長	障がいのある生徒達の学習環境を快適にするため、図形を取り入れたビクトグラムのサイン板を掲示したり、階ごとの廊下に違った色を付けるなど、視覚からも情報を取り込んで理解することができるよう、内装も工夫しました。		

◆整理番号、補助事業者名(法人名)を記入してください。

◆作成日、作成者を記入してください。

◆今回建築した学校の施設名を記入してください。また、その施設の所在地(住所)も記入してください。

◆「構造」欄には、今回建築した特別支援学校の建物の構造(例:鉄筋コンクリート造2階建て 等)を記入してください。  
「延床面積」欄には、今回建築した作業所の延床面積(m<sup>2</sup>)を記入してください。  
(※小数点以下2桁まで。それ以降は四捨五入されます。)

◆今回建築した特別支援学校の特長(特に優れている点やアピールポイントなど)を記入してください。

利用開始日 2023 年 4 月 1 日

①

☆開校当初の在学者数(定員)について教えてください。

定員	男子	20	名
	女子	20	名
	合計	40	名

④

	運用月	開校日数(日)※1	延べ登校者数(人)※2
1	2023年 1月	②	③
2	2023年 2月		
3	2023年 3月		
4	2023年 4月	19	950
5	2023年 5月	20	1,200
6	2023年 6月	22	1,540
7	2023年 7月	15	1,050
8	2023年 8月	5	300
9	2023年 9月	20	1,400
10	2023年10月	21	1,470
11	2023年11月	19	1,311
12	2023年12月	16	1,104
計		157	10,325

- ◆① 今回建築した特別支援学校の利用を開始した日にちを記入してください。
- ◆② 今回建築した特別支援学校の開校日数を記入してください。
- ◆③ 今回建築した特別支援学校に登校した生徒の月ごとの延べ人数を記入してください。  
(例:同一人物がその月に20日間登校した場合、20人とカウントする。)
- ◆④ 今回建築した特別支援学校開校当初の在学者数(定員)を記入してください。

☆学校生活における活動内容について、ご記入ください。

活動内容	<p>【学習例】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・季節、曜日、日付の感覚を身につけるためのカレンダーづくり。</li><li>・廊下でのすれ違いや職員室でのやり取りを通して、教員は生徒の言葉遣いに対する意識を向上させる。</li><li>・野菜を育てることによる体験活動を行い、将来の就労に向けた意欲・関心を育てる。</li><li>・「お楽しみ会」に向けた係り活動を実施させることにより、課題発見・解決力を身につける。</li><li>・校外学習の実施に伴い、旅行に対する期待感を持たせたり、ルールを守って行動することが大切なことを練習させる。</li></ul>
------	--

- ◆今回建築した特別支援学校で行っている活動内容を、例を挙げて具体的に記入してください。

2. 以下の評価項目について、ご記入ください。

a. 個別の評価項目について、交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(3／5) 4. 補助事業の事前計画』の、達成状況等を把握し、ご記入ください。  
○採点基準については、2022年度補助事業実施に関する事務手続要領『別冊評価要領』スコアリングガイドをご参照下さい。

(1) 受益者 (ニーズ)		新校舎が完成したことで、生徒が作業用に利用できる〇〇教室が確保され、より本格的な体験学習ができるようになった。また、体験をとおして進路も見据えた学習が可能となり、企業への就職も可能となる。			採点  4
(2) 事業内容	事業の新規性 または 継続の必要性	今回新たに〇〇設備を備えた教室を建築したことにより、新しい〇〇の実習訓練ができるようになった。作業だけでなく、貴重な実践と学びの場所となることができた。			採点  4
	事業の発展性	〇〇教室を利用して、地域社会との交流を通じ、障がいに対する理解・周知に役立てるとともに共生社会の実現に向けた一助になることが期待できる。			採点  4
(3) 達成目標	事業の成果・波及  ※自己評価1回目から変化があった場合にご記入ください。	達成値 施設登校者数 〇〇名	達成状況 108%	【具体的内容】 施設開校当初は登校生徒が〇〇名程度だったが、現在は毎日の登校者数も増え、目標に達している。	採点  4

b. 交付誓約書添付の『事前計画／自己評価書(2／5) 3. 補助事業実施の必要性(1)補助事業が最終的に目指すこと』の、達成状況をご記入ください。

生徒が作業用に利用できる〇〇教室が確保されることで、より本格的な体験学習が可能となり、障がいのある生徒の学ぶ権利を保障するとともに、一般就労を目指す生徒の職業教育環境を整備することができた。

新たに〇〇設備を備えた部屋を建築したことで、新しい〇〇の実習訓練が可能となり、生徒の職業能力向上を図り、生徒の進路希望達成に近づくことができた。

様々な作業学習を通じて多くの成功体験を積むことで、自分に自信を持つことができ、社会の多くの人々の理解と協力を得る足がかりになった。

3. この施設に登校する生徒及び保護者の声をご記入ください。

生徒：新校舎なので登校するのが毎日楽しみ。

保護者：見学した他校に比べると、本格的な体験学習により、就労訓練を前倒しで行えるのがいい。

保護者：冷暖房完備であるので、年中快適に勉強できる。

保護者：身体的な不安があったが、バリアフリーによりその不安が軽減された。

4. この施設に勤務する職員の声をご記入ください。

職員室内も明るく広くなったことで、生徒が入りやすい空間となったようである。

〇〇の実習訓練をはじめ、生徒の職業教育環境を充実したことで、卒業後の進路に多くの選択の幅を持たせてあげることができた。

5. 施設のオープンについて、ホームページ・新聞等に公表した実績を教えてください。(自己評価書の「事業成果の公表の方法」により成果を公表したもの、また、それ以外でマスコミ等の取材を受けた実績等があれば、ご記入ください。)

・当法人ホームページ及び当法人発行の機関誌に掲載。

・〇〇新聞(〇年〇月〇日)に掲載。

◆1回目の自己評価の際と同様に、事前計画／自己評価書(3／5)の目標に対し、どれだけ達成できたかを記入してください。  
採点欄については、別シートのスコアリングガイドを参照の上、採点してください。

◆(3)達成目標については、1回目の自己評価時から達成状況などに変化があった場合、変化があった後(現在)の状況について記入してください。  
**!!注意!!** 達成状況のパーセンテージについては、1回目の自己評価時との比較ではなく、事前計画／自己評価書(3／5)記入の内容と比較して算出してください。

◆事前計画／自己評価書(2／5)の「最終的に目指すこと」に対して、現時点での達成状況を記入してください。

◆建築前の状況や当初の計画と現状を照らし合わせ、今回建築した特別支援学校で行っている活動内容などを具体的に記入してください。

◆今回建築した特別支援学校についての感想など、施設職員の声を記入してください。

◆今回建築した特別支援学校について、新聞や雑誌、テレビやラジオ等メディアで紹介された事例があれば記入してください。特になければ「特になし」と記入してください。

6. この施設について客観的な立場から論評できる人(法人の監事、行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等)のコメントを自由にご記入ください。(できるだけ2名以上、論評者及びコメントを記載してください。)

生徒の就労スキルを習得する機会が増えることで、社会進出する際に多くの選択肢を持たせてあげることができる重要な施設である。施設を訪問した際、落ち着いた心地よい雰囲気が感じられ、この空間であれば生徒が安心して集団生活を過ごすことができると感じた。(当法人 監事)

多目的室を設置し、地域住民に利用してもらっているが、今後も多く利用してもらい地域の人々が集う場所となっていくことを期待している。(〇〇市福祉事業課 担当者)

◆施設の職員等ではなく、法人の監事や行政の福祉担当者、大学の先生等の有識者等のコメントを記入してください。

7. 特別支援学校を運営するにあたり、施設独自の課題があればご記入ください。

生徒の職業教育環境を充実させていく上では資金面での課題も多い。特別支援学校特有のマネジメントを適切に行うためには、職員においても専門性が重要である。今回の施設整備においてハード面では充実することができたが、今後ソフト面での拡充も必要だと考える。

◆今回建築した特別支援学校の運用についての課題があれば記入してください。

8. 特別支援学校を取り巻く状況や課題をお聞かせください。

特別支援学校の高等部での3年間は就労支援という側面もあり、生徒が学校教育を通じて自立と社会参加について準備する重要な期間であります。そのため、生徒達に自身が社会に出た後に「何がしたいか」を考えることができる環境を整備していくことが大きく求められている。

◆特別支援学校の現状や課題、また、教育・就労分野等での問題点や課題等を記入してください。  
なお、国の施策、それに対する影響等がありましたら併せて記入してください。

9. その他、施設に関する特記事項、上記1～8についての補足やJKAに対するご要望等ございましたらご自由にご記入ください。

障がいがあっても環境が整えば色々な力が身についてくる。生徒の力を引き出せるような環境をつくっていく必要があると思われるが、資材価格の高騰などにより資金の調達課題が大きいので、今後も補助を続けてほしい。

◆この自己評価の補足や、JKAに対する要望等を記入してください。

以上となります。 ご協力ありがとうございました。 p2022hyoka@keirin-autorace.or.jp までご送信ください。

【建築(私立特別支援学校)】